

四国

No.4 **4.5.6**

2017.第98号／平成29年6月30日発行



We Serve

The International Association
Of Lions Clubs





地区ガバナー 365日の軌跡

336-A地区 2016～2017年度 ガバナースローガン

100周年、夢と誇り・笑顔と絆で We Serve

ガバナーキーワード

挑む

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区ガバナー
真鍋 隆
(こんびり)

昨年の6月20日に家内を伴って、エレクトセミナーと第99回国際大会開催地の福岡へ出発しました。早朝より夕方までの4日間のセミナーは、大学以来の長時間研修でしたが実り多き日々でした。第100代国際会長ボブ・コリニュー氏は、ライオンとしても人間としても心から尊敬できる人物で、私も少しでも近づけるように精進しなければと誓いを立てました。

6月28日の最終日、閉会式に大勢の先輩や友人の皆様が応援にかけつけて頂きました。橋本前ガバナーが私の胸のエレクトのリボンを取った時、ガバナー就任となりました。この時の感動が、A地区単一クラブの活性化のために笑顔で全力投球する私の1年間の始まりでした。

ボブ・コリニュー国際会長のテーマは「次なる山を目指して」です。ライオンズクラブ国際協会は、100周年記念の年で「セレブレーション・お祝い」の年度と位置づけています。そして、伝統や先人のレガシーを尊ぶと共に、改革元年の気持ちで任に当たるようにとのことでした。ガバナーとして、各単一クラブは会長を中心として、新しいことに「挑む」気持ちを強く持ち1年間、改革に努力し「次世代への貢献」を真剣に考えて取り組むよう働きかけました。また、





「ガバナーやキャビネットに金メダルは
いらない!!単一クラブが金メダルを取っ
て欲しいと願っています。」と訴えさせ
ていただきました。

ガバナーに就任して早や一年が経過し
ようとしています。地区名誉顧問の皆様、
キャビネット役員、委員、クラブ会長、
そして会員の皆様方のご支援、ご協力
のおかげで充実した最高の日々を過ごさ
せていただきました。心から感謝、お礼申
し上げます。一年間、大変お世話にな
りました。

1 GMT・GLT・FWT会則について

会員増強については、質の高い新会員の
獲得、特に若い会員と女性会員を必ず
招請入会し、各クラブが純増3名を目標
にしてくださいました。会員が増えれば
より多くの奉仕ができ、新しい血がクラ
ブの活性化に繋がることをクラブ会長が
理解をしてくれました。そして、次の
100年に向かっては「家族と共に奉仕
しよう」と子会員（2人目以降の家族会
員）プログラムについて、ガバナーメッ
セージを送り説明を致しましたが12月
末、子会員の退会が多くありました。パ
イロットプログラム終了との誤解が残念
でした。しかし、日本の準地区35地区で
4ヶ月連続して純増トップになったこと
は特筆すべきことであり、皆様の情熱と
リーダーシップに感激を致しました。
指導力育成については、今期は女性会
長や若い幹事が多く次の世代を担う若者

の人材育成をクラブが真剣に考えてくれ
ていると感じました。そして、40歳未満
の入会者が地区で44名でした。又、近年
は必携等に変更箇所が多く見られますの
でキャビネットから資料、テキストを例
年より多く配布させてもらいました。国
際協会も改革に踏み出しているようです。

2 PRライオンズ情報大会参加について

クラブ会報誌を発行することの大きな
目的のひとつは、地域社会に対してライ
オンズ活動のPRに重点を置くことが大
切で、マスコミを利用したり会報を住民
向けに発行するクラブが増え、会員増強
につなげたクラブもある反面、例会議事
程度の内容のクラブもありました。マー
ケティングコミュニケーション委員会と
してスタートする来期からの課題もある
ようです。ライオン誌、特に地区誌には
ガバナーメッセージを含めて新しい情報
を提供することに努めました。各種大会
に参加することでライオンズのスケール
の大きさと友人を増やしてライオンズブ
ライフを楽しんでくれたように思います。

3 青少年・LCIFについて

今年度の国際平和ポスターコンテスト
の参加クラブは102クラブ、応募総数
5,106枚あり、いずれも前年を上ま
わっています。そして、地区の最優秀賞
として西条石鎚ライオンズクラブから提





出された西条南中学校2年、伊藤愛梨さんの作品を選び複合地区に送らせていただきましたが、複合においても最優秀賞となり国際協会の審査へと送られました。期待通りに世界の最終審査24点に入ったと連絡があり、100周年のお祝いの年に二重の喜びとなりました。

354-D地区との青少年交換学生では、年末の12月25日から3泊4日で姜総裁のお孫さん達5名をキャビネット主体で受け入れました。又、本年1月3日より同じく3泊4日の日程で、私の孫（小学校2年生）や近兼幹事のご子息達5名を派遣させていただき、お互いのメンバーの家庭にホームステイをして文化、歴史を学び良い交流ができました。

LCIFについては、A地区に献金額275,000ドル以上との伝達がありましたので、MJFを含めて会員1人平均50ドル以上を目標にしていることを公式訪問等で伝えてまいりました。そして、「LCIF・MJFで世界にも奉仕しよう」と、はしかの撲滅についての話もさせていただき理解してもらったおかげで、目標は達成されています。

4 環境保全・保健福祉・アラートについて

各クラブが植樹や街角に花いっぱい運動、清掃活動等で、ふるさとの豊かな自然を大切にし後世につないでいます。又、四献運動（献血・献眼・献腎・献骨髓）が推進されています。薬物乱用防止は、ライオンズクラブの大きな事業との考えが広がり四国4県すべてで、「薬乱防止

教育認定講師養成講座」が多くの参加者のもと開催されました。

特にキャラバンカーを整備し、有効利用した本年度は多くの小学生や住民にアピールすることができ、好評でした。アラートについては、防災訓練に取り組んだクラブもあり、活動が活発になっていると感じています。

5 YCE・国際関係ライオンズレオについて

国際協会の重要なプログラムであるYCE活動では、夏期派遣生5名、受入生は6名でした。猛暑の中、国営讃岐まんのう公園でサマーキャンプを開催しました。又、広島平和公園にも出かけて行き平和の大切さを学んでまいりました。鴨島レオクラブの皆様と地元の琴平高校生の参加もあり、有意義なキャンプでした。冬期派遣生は2名、受入生は3名でB地区との合同ウインターキャンプとして岡山で開催されました。そして、国際姉妹提携クラブ（台湾等）との国際交流も活発でした。又、レオクラブには活動報告に基づいて活動費を拠出させていただきました。尚、6月27日には、高松フェニックスライオンズクラブのスポンサーで、「高松しらうめレオクラブ」が結成されます。

6 ライオンズクエストについて

地区としての取り組みとして、10年目を迎える事業ですが、ライオンズクエスト





Contents

表紙 2 地区ガバナー365日の軌跡

- 4 336-A地区第63回地区年次大会ダイジェスト
- 8 地区年次大会第一分科会 活動事例発表
- 10 幹事・会計／御礼の言葉
- 11 委員会／今期を振り返って
- 15 リジョン・チュアパーソン／この一年を振り返って
- 20 周年レポート
- 27 第35回 韓国354-D地区年次大会参加報告
- 28 特別支援学校の生徒によるレオクラブの結成
- 29 特別寄稿／ライオンズ的「学問のススメ」
- 30 特別寄稿／四国の偉人〈香川県〉
- 32 会員現況
- 33 物故会員、編集後記、切り絵作家プロフィール

表紙 4 第64回地区年次大会・徳島大会

表紙切り絵：切り絵作家 寒川 幹子さん



ライオンズクラブにおけるITの役割はどんどん大きくなってきています。それで336-A地区においても地区のIT化推進計画が立てられ推進メンバーが招集され、次のように地区のIT化に取り組んできました。

① キャンペーン関連のイベント登録をWeb上で行い自動集計が瞬時に行える。

7 ITについて

ト特別委員会メンバーの熱意で、ワークショップ4回、体験会（セミナー）2回、開催致しました。

- ② 2016年以降ガバナー諮問委員会の回答をWeb上で行い、各ゾーンごとの集計自動化を実現。
 - ③ 2016年にホームページが新しくなりR、Z、委員会の活動を各自でアップできる。今後も、ライオンズクラブ会員の皆さんが便利になる機能を次のように計画しています。
 - ① 構築された各機能の活用を推進し会員皆様が便利になっていくようサポートする
 - ② MyLCIとServannaの今後の状況に応じたマニュアル等の資料を充実させサポートする
- 以上、ご報告させていただきます。



336-A地区 第63回地区年次大会 ダイジェスト



代議員第一分科会



代議員総会



代議員第三分科会



代議員第二分科会



前国際会長・LCIF財団理事長 山田寛弘講演会



336-A 地区 第 63 回地区年次大会ダイジェスト



来賓ご挨拶 山田前国際会長



来賓ご挨拶 小野琴平町長



来賓ご挨拶 栗田まんのう町長



来賓ご挨拶 浜田香川県知事



354-D地区総裁挨拶





昼食会の様子





みんな
大忙し

地区年次大会 の バックヤード



第63回地区年次大会を終えて



地区年次大会委員長

池内 英則（丸亀京極）

「おんひらひら 蝶も こんぴらまいり哉」

小林 一茶

2017年4月9日（日）、春爛漫の好季節にライオンズクラブ国際協会336-A地区、第63回地区年次大会が丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、こんぴらキャビネット5R13クラブホストにより開催いたしました。

大会には、公務が多忙の中、香川県知事、浜田恵造様、前国際会長・LCIF財団理事長山田實紘様をはじめ、多数のご来賓と会員、ご家族の皆様方の参加、ご協力を頂き、また、前国際会長山田實紘氏による講演会も行われ、晴れやかで盛大な大会になりました。大会前の数日は雨続きで心配した天候も一時の晴れ間を見せ、絶好の穏やかな春日和となり、すべての作業が順調に進行できたことも幸運であったと思う次第です。

大会では初めて「昼食会」という試みで不安もありましたが、「うまいうどんがまっちゃうぞ！」のもと、かけうどん、ドジョウうどん、B級グルメの鍋ホルうどんや田舎ずし、タケノコの天ぷらなど郷土料理を創意工夫して、お接待の心とおもてなしで皆様に召し上がって頂き、

仮設舞台では郷土芸能、太鼓の演出や地元高校生の薙刀の技、民舞など鑑賞して頂きながら、楽しくお互いの親睦を深めて頂いたものと思っております。

式典終了後は同会場で、こんぴら歌舞伎入場券がペアで当たる抽選会（富くじ）もあり、みんな一喜一憂、賑やかな内に大会はすべて終了することができました。

なお、本大会は地方開催であり、会員手作りの会場設営で不備な点もあったことと思いますが、郷土色豊かな大会であったのではないかと考えております。大会スローガンは、「四国はひとつ」笑顔で楽しくウィ・サーブ」として迎え、100周年を祝い、交流と親睦を深めて頂き、家族と共にウィサーブでこの大会を盛り上げ頂きまして誠にありがとうございました。

最後に大会にご参加頂きました、ご来賓の皆様、会員、ご家族の皆様、大会運営に携わって来られた会員皆様方には心からお礼と感謝を申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

地区年次大会 第一分科会 活動事例発表

「ライオンズクラブに入会した
目的はなんですか？」

賛助会員がクラブを救った！



〈高松東ライオンズクラブ〉

会長 植田 康広

「ライオンズクラブに入会した目的は何ですか？」いま何をしていますか？高松東ライオンズクラブは、高松ライオンズクラブのスポンサーで1965年に結成し、高松葵LC・高松南LC・高松西LC・直島LC・八栗LCをエクステンションしました。現在、水戸東LC・ソウル永東LC・下関東LCの3クラブと姉妹提携しています。また、1988年・1989年L石橋忠夫を第35回地区ガバナーに選出したクラブですが、「青天の霹靂」結成50周年記念式典を目前に意見の相違によって、9名の方が退会、その影響で6月末には期首の半分の会員数になってしまいました。

この件について、先輩からご意見をいただきました。ライオンズ歴49年、L久米穂積よりライオンズクラブの運営は「ライオンズ必携」が大事だが、それよりも大切なものは他人に対する「気遣い」と「思い

やり」です。又、ライオンズ歴48年、L永井國幸からは、「仲良きことは美しき哉、私の大好きな言葉です。」ライオンズクラブメンバーは、「仲良くしましょう、このことが一番です。」と言われました。

解散か？

正会員21名ではクラブ運営はむずかしい。事務所の家賃・事務員の給料が払えない継続事業も満足に出来ない。このことについて皆で話し合った結果、「子供達の笑顔の為、困っている人々の為」に存続することになりました。事務所についてはメンバーより無償で貸していただき事務員の給与も年間100万円に下げました。

会員増強

仲間が少ないと奉仕が出来ませ

ん。同じ「志」を持った仲間が必要。そこで、目標を設定しました。2016年12月末20名、2017年6月末30名です。誰にあたる？家族会員？過去に在籍していた方？会費をどうする？月会費8000円を下げる？など検討した結果賛助

会員制度を活用しました。

ライオンズクラブの活動を知っていただく為、窓口を広くしました。月会費3000円で、まず入会。大勢の方が入会してくれました。又、嬉しい事は今まで支援してきた香川県柔道連盟・香川県腎臓病協議会の方も入会してくれたことです。皆様のお蔭で、例会も奉仕活動も、にぎやかに楽しくなりました。入会してからが大切です。例会後15分間、元RC L岡信夫にクラブの歴史や先輩会員の軌跡などをお話いただいてLCの活動を理解していただき賛助会員から正会員へ移行してもらっています。そして自分の得意な奉仕活

継続事業の現在

今年度、事業費146万円をお役に立てる事が出来ました。香川県柔道連盟支援、小学生による交通安全啓蒙支援、香川大学留学生支援、香川県腎臓病協議会支援、1月8日には震災地熊本県西原村の仮設住宅にお住いの方500名にさぬき打うどんを食べて頂くことも出来ました。

「かおるさんとひでこさん」 冊子

かおるさんはメンバーの細井香さんで、ひでこさんは昨年の11月8日に亡くなられた奥様です。お通夜の挨拶を聞いて、私は感動して告別式の挨拶を録音してこの絵本を作りました。私は細井香さんをはじめライオンズクラブのメンバーと一緒に奉仕ができる事を誇りに思います。ライオンズクラブの「目的は奉仕をすることです。」その為には、「仲間が必要です。」ライオンズクラブは「奉仕」と「友愛」です。攻め心の無い厳しさ、馴れ合いで無い優しさ、甘えの無い妥協です。

そして、ライオンズクラブの皆様、ひん死の高松東ライオンズクラブを応援して下さいありがとうございます。ここに不死鳥のごとく蘇った事を報告いたします。ありがとうございます。

かおるさんとひでこさん

細井 香

(表紙)



ライオンズクラブ国際協会 3361-A005 40-22
高松東ライオンズクラブ
事務局：高松市島上町2丁目10-1 電話087(8)33-0505

(裏表紙)



時を同じくしてアイバンクも設立いたしました。すぐに私と母親と妻秀子が属しました。
機会があつたら必ず提供しようという申し合わせをしながら、10年ほど前に母親が96歳で天寿を全うし、角腹を提供いたしました。
後にアイバンクから喜びの声を聴かせていただき、家族で我がことのように喜んだ経緯もありまして、私たち夫婦も必ず提供しよう、世のため人のために少しでも役に立てようという思いでおりまして、妻が亡くなったときも躊躇せず提供しました。
後日、「制度上お名前はお覚えてきませんが、手術は成功し、患者さんは光を取り戻して、大変喜んでおられます。」というお電話がありました。

(3)

妻は生前、臓器と眼球の提供登録をいたしておりました。

これは私が所属する40年前に遡りますけれども、ライオンズクラブにご縁がありまして入会しました。

ライオンズクラブは奉仕団体でございます。

「We serve」我々は奉仕する

という団体でございますけれども、そこで腎臓患者の悲惨な状況を見まして、腎臓支援のバンクを起ち上げました。



(2)



この度は、妻秀子の葬儀に際しまして、公私ともに何かとお忙しいなか、たくさんの方のご会葬をいただきまして、誠にありがとうございました。
妻は75歳で旅立ったのでございますけれども、子ども3人、孫7人に囲まれて、本当に何か喜んで人生を終えたような顔をしておりまして。

(1)



故 細井秀子様のご冥福をお祈り致します。
これは、平成二十八年十一月八日にご逝去されました故 細井秀子様 告別式での喪主 細井香様のご挨拶を元に編集したものです。
お母様に続いて奥様、そしてご自身、お子様、お孫様まで献眼しようという強いご意思は、家族の理解が無ければ出来ません。皆様、いまいちど、ご家族の方と献眼についてお話しをしてみ下さい。

高松東ライオンズクラブ 会長 植田 康広

(6)



私はそれまで、妻の死で深い悲しみに沈んだ毎日でありましたが、その朗報を聞いていっぺんに喜びに変わりました。
「ああ、妻は亡くなっても、魂と2つの眼は2人の人を救って、その人の眼からずっと生き続けるんや。」
という思いを肌感じましたら本当に嬉しくて、
「これは私も絶対にする。」
という決意とともに、おそらく私の子どもも、孫も必ず提供してくれるだろうと信じております。
それと同時に、光を取り戻した方の喜びがいかに多いかと思うと、我がことのように喜んでおるところでございます。
そして、一番喜んでるのは妻秀子ではなからうかと思ひます。

(4)



(5)

このような運動も、皆さんのご支援がなければ続けることはできません。
どうぞ、深い愛情のご理解をいただきまして、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、葬儀に聞しましては、地域の方々をはじめ、たくさんの方にご支援をいただきましたこと、御礼申し上げます。
この度は誠にありがとうございました。

キャビネット幹事を終えて



キャビネット幹事
近兼 聖弘（こんびら）

いよいよ目前に迫ったシカゴ国際大会。
ライオンズクラブ創立100周年の記念すべき大会の閉会式と同時に私のキャビネット幹事の任も終わろうとしております。

自分の無能さをあらためて知った一年であり反省すべき点も数えられない程ありましたが、ひとまずこらびらキャビネットを無事終えることの出来た安堵感で一杯というのが正直なところです。

あるメンバーから最近の幹事は笑顔が多くなって顔つきが優しくなった、初めの頃はピリピリして近寄りづらいくらい怖い顔だったと指摘されビックリしたのですが、自分自身でも気付かない程、幹事の重責にプレッシャーを感じていたんだなと痛感しました。

初めてのキャビネットでいったい何をしたらいいのかも解らないままスタートしましたがガバナーや地区名誉顧問そして多くの諸先輩方にこ

指導いただき、また優秀な地区役員・地区委員の皆様を支えられ内局の仲間と事務局員に迷惑をかけながら過ごした一年、そしてガバナー公式訪問、クラブの周年や入会式等で四国中を訪問させていただき、多くの素晴らしい仲間を作ることの出来た事は私のかけがえのない宝物になりました。

お世話になった会長様はじめ会員の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

末筆になりますが各クラブの今後益々のご発展、会員皆様のご健康とご多幸を、また地区の発展のため御尽力される次期徳島キャビネットのご活躍を心より祈念申し上げます。私の退任の挨拶とさせていただきます。

キャビネット会計を終えて



キャビネット会計
藤田 賢慈（こんびら）

今期、こんびらキャビネットの会計を仰せつかつて早や任期が終わろうとしています。ライオンズクラブ国際協会創立100周年を迎える節目の年にライオンズクラブも大変厳しい時代となり、真鍋ガバナーは次世代の貢献のため時代に合った改革をしなければならぬと改革元年と位置づけ、命がけでがんばってまいりました。各クラブと寄り添い、クラブの問題点やご意見を真剣に聞き働きかけてまいりました。結果、各クラブの役員は元より地区役員、地区委員の方々のご理解をいただき、ご協力、ご支援のおかげで良い成果を上げることができました。特に会員増強では、全国でも常にトップクラスの成績を上げ、今期からガバナーズアワードにクラブの若返りをはかるため若獅子賞を作り、約50名（39才以下）の入会をいただきました。

今のところ会員純増200名を数え、どうにか次期徳島キャビネットに純増でバトンタッチができるようにと期待しております。

年間の締めくくりでもあり最大のイベントである地区年次大会ですが、改革をふまえた手作りの大会となりました。各方面からも良い評価をいただきました。

年度当初から大会委員長を中心に、月2回の運営委員会を開催して、田舎の弱小クラブでもキャビネットを持ち、年次大会も地元でできることが実証されたと思います。5Rの皆様には親身になってご協力いただきました。これぞライオンズの精神である「ウィ・サーブ」だと実感致しました。

どうか、次期徳島キャビネット川辺ガバナーエレクトにおかれましては、真鍋ガバナーが播きました改革の芽を一步一步育てていただいで、大きな花が咲くように御期待申し上げます。

一生懸命やってきたつもりですが、力不足でご迷惑をおかけしました事、お許しください。本当に一年間ありがとうございました。



GMT・GLT・FWT・会則委員会



委員長 岡崎 邦彦 (丸亀京極)

「会員純増計画」最終月を迎えるにあたり

今年度もあと1ヶ月余り、クラブ会長方針の総決算月の6月を迎える事となりました。この1年間、委員会の活動方針をご理解いただき、実践されました事に委員会一同お礼を申し上げます。

新年度スタートの7月1日、1R3Zに松山つばきライオンズクラブのスポンサーで松山センチュリーライオンズクラブが結成され、幸先の良いスタートを切ることができました。

年度当初、クラブより提出された一年間を通じての「会員純増計画予定書」に基づく目標達成に、クラブ会長はじめ会員の皆様の情熱と努力により、会員純増も良い結果が出て目標達成の目前まで推移しています。今年度、新しくガバナーズアワードとして

(1) 2016年7月1日～2017年6月30日までの一年間を通じての

「会員増強優秀クラブ賞」

(2) 子会員参加のアクティビティ「アクティビティ特別賞」

の2賞をもうけましたが、(1)については、「6月会員増強月間」で、各クラブともぜひ目標達成に向けてなお一層の挑戦を期待しています。(2)については、思ったより多くのクラブから「アワードの申請書」が提出されました。

以下、今年度の報告を項目別に記載します。

【GMT】

●会員増強

12月と3月は会員純増がマイナスでしたが、他の月はプラスで最終目標に向かって推移しています。

●退会防止

12月は「家族会員パイロットプログラム」の関係で多くの子会員の退会があり残念な結果となりました。

した。

会員退会の現状は、入会者数に対し65%～69%の退会者数で、その内8%～9%が物故会員で会員の高齢化を痛感します。

●会員種別の活用

今年度、朗報として「優待会員・不在会員」の種別を活用されたクラブより正会員として復帰されたという報告が複数あり、これから大いに活用すべきだと思います。

今後も、会員増強には会員の退会防止が重要課題として対策を充分に検討する必要があると思います、会員の高齢化対策と共に。

【GLT】

今年度、現時点で若獅子(40歳未満)44名の入会がありました。彼等はクラブの若い会員と共にこれから世代を担う会員であり、クラブリーダーとして育成をしていく責務があります。また、彼等の入会により同世代の友人・知人の会員増強にもつながると期待します。

【FWT】

●家族会員(子会員)プログラム

今年度より正規のプログラムとなり、その目的とする「家族と共に奉仕活動」を行なう、これからのクラブアクティビティに新しい境地を開拓する要素になると思われます。今年度、子会員の入会は

4月で24名の純増であり、徐々に増加の傾向にあります。

●女性会員

女性会員増加と共に、アクティビティにも新しい発想と展開による成果が出てきているという結果も報告されています。

以上がこれまでの主な経過内容ですが、今年度最後の月、6月を皆様と共に実りある月にしたいものです。

埋め草掲示板

「ひとつのことば」

ひとつのことばでけんかして
ひとつのことばでなかなかおり
ひとつのことばで頭が下がり
ひとつのことばで心が痛む
ひとつのことばで楽しく笑い
ひとつのことばで泣かされる

北原 白秋 (略)

PR・ライオンズ情報・大会参加委員会



委員長 柴田 正比古 (坂出)

本年度より、PR及びコミュニケーション委員会、PR委員会、ライオンズコミュニケーション委員会に變更されました。

しかし、昨年4月にスタートした当委員会は従来通りのPR・ライオンズ情報・大会参加委員会のままでまいりました。言わば最後のPR委員会ということで、特にPRを意識した委員会活動を行ってきました。

何の為に、誰に、何をPRするのか？をテーマに、ライオンズクラブ以外の方々にいかにライオンズクラブを知っていただき、理解していただき、最終的にはクラブメンバーになつていただけるPR活動に取り組むよう訴えてまいりました。

また、この委員会の大切な事業である会報誌作りについても、例会報告、理事会報告、委員会報告等の報告事項が大半の会報誌が沢山見受けられました。そのような内容をクラブメンバーに知らせるのであればメールとかFAXで充分ではないで

しょうか。一年に一回でも二回でもいいですから、クラブメンバー以外の方々が意識した、クラブメンバー以外の方が読みたくなる会報誌作りに取り組んでいただきたいと思います。

第63回地区年次大会開催

2017年4月9日 綾歌総合文化会館アイレックス

分科会発表での坂出ライオンズクラブPR委員会発表資料を、YouTubeに置いております。

以下URLへアクセスすると見ることができます。


<https://youtu.be/ATbszvHdQxw>

※ナレーションは発表時のものではなく、PCによる自動読み上げになっています。

環境保全・保健福祉・アラート委員会



委員長 吉田 清志 (多度津)

今年度、真鍋隆ガバナの下、こんぴらキャビネットにおいて、環境保全・保健福祉・アラート委員長をさせて頂きました。一年間御支援・御協力を賜りありがとうございました。地区内の各クラブに、この委員会が担当する分野のアクティビティへの御理解を頂き、又その成果についてガバナアワードでお応えしたいと考えておりましたが、そのような出来たかどうか心許なく思っています。

ところで、今年度の特色としては薬物乱用防止活動の分野で、啓発活動のためのキャラバンカーの運用を図りました。この車は昨年の7月6日に高知キャビネットから引き継いだもので、早速その当日に東京のセクターから講師の先生をお迎えして取扱説明会を開催したところ、この車の初年度登録は平成12年、走行距離は37万キロを越えていて、しばらく使用していなかったこともあって車内のIT機器の作動も悪く、難産

の状態でのスタートでした。思いとしては潤沢な財源を背景に運転手と説明員を抱えて各地へ出前したかったのですが、財源不足のためこのような夢は早期に断念しました。運用の実情としては、利用して頂いたクラブにおいて専門家の指導を受けての出動で、それでもプリクラ撮影の機能もあることで子供達には好評を受けておりました。このような事情の為、実際に利用頂いたのは5Rと4R、2Rの一部のクラブにとどまり、徳島・高知方面までは足が伸びませんでした。

このキャラバンカーの保険と車検の期限は来年の4月までありますので、今後どのように利用出来るか皆様のお知恵もお借りしたいと思っています。

委員長として見聞を広めることが出来た一年でした。重ねてお礼を申し上げます。

YCE・国際関係・ライオンズレオ委員会



「委員長」大島 竹雄
(善通寺)

YCE事業は国際協会のYCEプログラムに沿って、実施される単一クラブのアクティビティであります。目的「世界の人々の間に相互理解の精神を培い、発展させる」というライオニズムの第一目的を推進するため、国際理事会が1962年に青少年交換プログラムの設立を承認しました。プログラムの目的は次の通りです。

- 1、ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する。
- 2、異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させる。
- 3、青少年に諸外国の同年代の青少年と交流する機会を与える。
- 4、他国の人と接する機会を青少年に与える。

これらの目的は、交換生、スポーツサークラブ、ホストクラブ、家庭が全員心に留めておくべきものである。関係者は個人的利益を考えず、プログラムを実施するべき、自らの行動に注意を払わなければならない

い。となつておりますが今期、コン
ピラキヤビネットでは夏期派遣オ
ストラリア、7月21日～8月23日1
名、ニュージーランドへ8月3日～
8月23日1名、スポンサークラブ
5R-1Z丸亀ライオンズクラブか
らカリフォルニア1名、スポンサー
クラブ7R-1Z高知鏡川ライオン
ズクラブ、台湾8月4日～8月24日
2名、9R-2Z徳島藍ライオンズ
クラブです。

夏期来日生はイタリアから2名、7月11日～8月7日まで徳島ライオンズクラブ、南国ライオンズクラブ、土佐香南ライオンズクラブ、台湾から7月15日～8月4日まで坂出ライオンズクラブ、善通寺ライオンズクラブ、坂出白峰ライオンズクラブ、丸亀ライオンズクラブ、高知桜ライオンズクラブが受けてくださいました。大変暑い中での受入、派遣でしたが、事故もなく、サマーキャンプも国営まんのう公園での2泊、庄原で1泊の3泊4日のキャンプでした。

開村式では多くのライオン関係の方が出席の中、まなべ結婚式場で真鍋隆ガバナーの挨拶と、日程、注意事項等の説明で始まりました。参加者の中に鴨島レオクラブ、琴平高校の生徒等53名の参加で行われました。

まんのう公園キャンプ場では、天体観測、アイスクリーム作り、ろうそくを使用しての工作、各班での料理コンテスト、牛乳パックを使用してのホットドックづくり、夜にはキャンプファイヤー、金毘羅宮参拝、庄原市の西城紫水高校神楽部の神楽舞鑑賞、交換会、広島平和記念公園に行き、感動有り、悲しみ有りでの4日間でした。無事修了出来ました。又、参加して頂きました方々には感謝申し上げます。

冬期派遣は、ニュージーランドに新居浜ライオンズクラブから1名、12月21日～1月8日まで、マレーシアに高松源平ライオンズクラブから1名、12月21日～1月9日まででした。3月5日に2016～2017年度冬期派遣、受入報告会をまなべ結婚式場にて行いました。派遣で行かれた2名とも貴重な体験をするこゝとが出来たのも、ライオンズクラブYCE事業に感謝していますと話しておりました。冬期受入は12月8日～12月28日までで、12月23日から新見市いぶきの里でのウィンターキャンプを予定しての受入で、松山城東ライオンズクラブ1名、松山南ライオンズクラブ1名、新居浜ライオンズクラブ1名、新居浜ライオンズ

ズクラブのマレーシアから男子2名、女子1名の3名でした。残念ながら松山城東ライオンズクラブの受入りア・シンビイ君16歳が体調不良でウインターキャンプに参加できず、本当に残念です。

次期の徳島キャビネットYCEサ
マーキャンプが徳島にて行われます。
7月17日～7月20日までの予定です。
多くの方の参加でいろいろなことを
体験していただこうと思います。又、
ライオンズレオクラブが5クラブか
ら6クラブとなり、今後の活躍が期
待できます。終わりにりましたが、
本年度3361A地区の多くの皆様
のご協力、本当にありがとうございます。
ました。



冬期受入生らと共に

青少年・LCIF委員会



「委員長」 石川 裕之（三豊）

4月9日に丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて今期こんぴらキャビネットの総決算である第63回年次大会が行われました。当委員会は環境保全保健福祉アライト委員会、ライオンズクエスト特別委員会と共に第二分科会を受け持ちました。

当委員会は杣友地区委員の推薦もあり、8R2Z上板ライオンズクラブの『出前授業』を発表していただきました。日比生永子委員長から小学校へクラブメンバーが子どもたちに駒作りを始め、ナイフを使った鉛筆削りやお箸作り等を教えに行くというスライド形式の発表でした。1年生から6年生までの年齢に応じた様々なおもちゃづくりを行っており子どもたちの笑顔溢れた素晴らしい内容でした。近年おもちやなどは完成品を与えられるもので、自分で作って遊ぶということが少なくなっていると思います。自分で作るという喜びを教えるという上板ライオンズクラブのアクティビティは非常に感動しました。これからもよろしくお願ひします。

また、平和ボスターでは2R4Z西条石鏈ライオンズクラブ推薦の伊藤愛梨さんの作品が世界約60万作品のうちから24作品に選ばれたという素晴らしい

快挙を成し遂げてくれました。写真でも十分にその素晴らしいさは伝わるのですが、原本はもっと素晴らしい、ひとりひとりの表情が立体的で絵の中で生きているのではないかと錯覚を起こすほど丁寧に描かれた作品です。西条石鏈ライオンズクラブの皆さん本当に素敵なプレゼントをありがとうございます。

LCIFでもガバナー方針のMJFを含め1人平均50\$を遥かに超え約70\$のご協力をいただきました。MJFも昨年度を20口上回る結果となり皆様のご協力と、真鍋ガバナーの人柄と人徳によるものだと思います。LCIF一般援助交付金も5R1Z丸亀ライオンズクラブ、5R2Z三豊ライオンズクラブで申請され国際理事会で承認され交付金を受け取ることができるようになっています。来期の周年事業での発表を楽しみにしています。

最後になりますが、今期の青少年・LCIF委員会の方針はほぼ達成しました。これは3361A地区のすべてのメンバーのご協力の賜物だと思えます。1年間ありがとうございました。楽しい一年間を過ごさせていただいたことに感謝いたします。

ライオンズクエスト特別委員会



「委員長」 春木扶佐子（鳴門）

早いもので特別委員長を拝命して4年目となり、今期で最終の年を迎えました。5名の特別委員の皆さまには県単位で長年、活発に活動いただきまして心より感謝しております。今年度は、初心に返り、少しでも多くの会員の皆さまにクエスト事業の大切さを知っていただきたいの思

いからセミナー開催に重点をおき活動してまいりました。松山・徳島・6月には今治くるしまLC主催で校内型セミナーそして坂出セミナーを開催します。

諸先輩方のご苦勞により地区での普及活動を開始してから10年。その成果は着実に実っております。土佐ライオンズクラブでは、教育委員会、学校、ライオンズクラブが連携してワークショップを継続的に開催する地区内のモデルケースに発展しています。高知とさみずきライオンズクラブは、地区で最初に普及活動に取り組み、近年では、フリースクールや子ども居場所作りといった学校外の地域の子ども・青少年育成支援関係者へ対象を広げ、継続しています。坂出ライオンズクラブは、保育園・幼稚園や若者就労支援、子育て支援の関係者などへ対象を広げてい

くことを模索しています。鳴門ライオンズクラブは、鳴門市教育委員会、市内実践校と連携しながら、市内の小・中学校の教員や大学生、青少年支援関係者を対象に継続的に開催しています。

まだまだ、温度差がある事業ですが、確実に子どもたちにプログラムが届いていると実感しております。今期真鍋ガバナーのご理解により、活動ができましたこと、心より感謝申し上げます。又、周年を迎えるクラブの皆さまからも心温まるご寄贈をいただきました。普及活動の大きな力となっております。心より御礼申し上げます。

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきました。そうした変化が、子どもたちの生き方に今後、大きく影響してくると思われまふ。ライオンズクエストプログラムの普及活動が子どもたちの明るい未来につながると信じ、地区の普及活動が益々拡大することを願っております。

最後になりましたが、たくさんのご支援、ご協力をいただきまして有難うございました。心から御礼を申し上げます。

この一年を振り返って

Region Chairperson

リジョン・チュアパーソン



充実の一年を終えて



1R-RC
村井 淳子
(松山つばき)

緑風が暑さを運んでくる昨年7月、皆様のご推薦をいただいて1R-RCを拝命し早くも一年が終わりました。

FWT推進の時代ですのでこのことを自覚して強い思いで第1回キャビネット会議に出席した私です。満面の笑みの真鍋ガバナーは「私は命がけと潔さで責務を果たします」と発言されました。言葉は意思の大切な手段と言われますが、まさにその通り、私はすっかり真鍋ガバナーに感動し、意欲がわいてきました。まず取り組んだのは例会訪問。キャビネットのガバナー活動方針をお伝えし、協力を求めて20クラブを訪問しましたが、どのクラブも温かく迎えて下さり、協力的でライオンズムの浸透を痛感した訪問でした。一年後にはどのクラブもLCIF、MJF、会員増強、アクティビティにご尽力下さりいい結果ができました。エクステンションは会員増強の柱となりました。少し異なる意見も出ましたが、第2副地区ガバナーが第63回地区年次大会で承認されました。1Rの未来に期待が持てそうです。今期は周年記念

のクラブが8クラブもあり、それぞれに地域に密着した記念事業を企画され、そのチーム力・実践力には目を見張るものがありました。式典すべてに真鍋ガバナーが出席され、心からの祝意を述べられました。会員のガバナーフィーバーは過熱さみでそのピークは1R20クラブ合同のサンタチャレンジの時でした。人間味あふれるふくよかな真鍋サンタは、私たちに真心をプレゼント、感動の輪、奉仕の輪は一層大きくなりました。アワードの選考会で各クラブ甲乙つけがたい内容のアクティビティが選出され私は会員の団結力がうかがえ満足感いっぱいでした。

女一人きびしい世を生きる心の糧が今ライオンズ活動になっていく私です。多くのよき友との出会い、地域住民とのふれあいすべてが宝です。そして、何より真鍋ガバナーの物事をやりとげた美しい涙は、私の胸深く残りこれからの歩みに生かされることでしょう。

今後はこの一年で学んだリーダーのあり方ウィサービスの大切さ、人間形成の重要さを自覚してまいる所存です。奉仕の輪がますます広がり、シニア世代の活性化、若者たちの心の充足の一助になればと思っております。

一年間地区役員・委員の皆様そして各クラブの皆様ご協力ありがとうございました。任務を終えるにあたり心より御礼申し上げます。



RC 離任にあたり



2R-RC
河端 寛
(新居浜中央)

リジョンチュアパーソン（RC）を引き受けるに際し、何よりも危惧した事はこの一年間本当にやり切れる体力と気力がもつのだろうかという事でした。年齢70を数え頃に疲れやすく、気弱になっていたところでした。何より知力が一番足りないのに今更勉強しても、人様を指導したり、引っ張ってゆけるだろうかということでした。しかし周囲を見渡せば70才代の多くの人がガバナーや、地区役員をやられ頑張っているではないか。自分も未だ未だ頑張らなくてはと云い聞かせ邁進する事にしました。真鍋隆ガバナーからはキャビネット会議をはじめ何かある度に声を掛けていただき活力をもらいました。又ライオンズクラブ創立100周年を迎え真鍋隆ガバナーの「武士の魂（命懸けと潔さ）の精神」で運営されている、その気迫に背中を押されなんとかやってまいりました。

顧みますれば昨年4月の「次期RC・地区委員研修会」にはじまり、

「次期リジョン協議会」「準備リジョン会議」「2R年次会合」等本番前の会議は先輩RCに手取り、足取り御教授いただき大変勉強になりました。RCの仕事の大きな役目はキャビネット、ガバナーの意向を各ゾーン、各クラブへ伝える事ではあります。先クラブの例会の特長や独自性が目に入り、勉強させてもらったのが実情でした。2Rの会員皆様に対し特筆すべき仕事も出来ないままに任期を終了する私ですが、自分自身の人生においては、これ程勉強させていだいた一年はなかったし、充実した時間を持つ事が出来た事に感謝しております。なりたくて成れる役職ではなく、嫌だからやらなくて良い職務でもないのがライオンズだと思っています。

めぐり合わせのこの一年が天命と
思い、やってまいりました。

御協力、御指導いただいた、キャビネットの皆様、そして出来ない私を御寛恕下さったZC、2Rの皆様
に御礼申し上げます。



一年を振り返って



3R-RC
西崎 政吉
(宇和島)

任期も終わりに近づき、一年を振り返りながら、改めてRCの大変さを実感しつつ、ようやく役目を終えられることに安堵しています。また、いろいろな会合を通して多くの会員の皆様と出会い、交流できたことに感謝申し上げます。

さて、RCの役職を一年間経験して感じることは、会合の多さです。特に、リジョン内14クラブの例会訪問には2カ月以上掛かりました。この間にも、諮問委員会やガバナー公式訪問があるなど、よほど時間的に余裕のある人しか務まらないのではないかと少々危惧しています。そういう中、今期から大気IT特別委員の指導のもと、ライオンズクラブ3361A地区の3R公式サイトに、各種会議案内を掲載しています。今後はこの公式サイトが、各ゾーン、各クラブ間でそれぞれの情報を共有し、お互いの業務の効率化や経費削減、地区役員・委員の負担軽減などに、大いに活用されていくものと期

待しています。

また、今期はライオンズクラブ国際協会100周年という大きな節目を迎え、真鍋ガバナーの運営方針に基づき、何か新しいことに取り組んでもらいたいということを各クラブにお願ひしてきましたが、十分に浸透しきれなかったのではないかと反省しています。ライオンズクラブでは、以前からマンネリ化が指摘されていますが、こういう機会を捉え自己のクラブを見直し、今後時代の変化に対応した改善、改革をお願いしたいと思っています。

更に、今期3Rでは諮問委員会の中で、ゾーン再編（3Z体制から2Z体制へ）についての提案を行ってきました。まだ合意には至っていませんが、地区役員・委員の選出など、少人数のクラブの負担を軽減できるよう、各クラブのご理解、ご協力のもと、次年度においても、前向きに取り組んでもらいたいと思います。

終わりに、共に活動して頂いた地区役員・委員を初め、ご協力頂いた各クラブ会長・会員の皆様に厚くお礼申し上げます。



4Rとして感謝の一年



4R-RC
田村 雅宥
(小豆島)

ライオンズ国際協会は、100周年記念の年であり真鍋隆地区ガバナーのスローガン「100周年・夢と誇り・笑顔と絆でWe Serve」キーワード「挑む」(武士の魂)「命懸けと潔さ」の精神で運営や奉仕活動に「挑む」気持ちを持って、1年間、改革に努力してほしい。100周年に向かって奉仕活動もしてほしい。この理念実現に向かって出発しました。

今期、1番緊張した時は、ガバナー公式訪問であったと思います。真鍋ガバナーは3回目の公式訪問になります。ので、すべて承知しているからです。無事に終える事ができ、懇親会でガバナーの「良かったよ」の一言に心うたれました。皆様方の支えがあればこそと思いました。心から感謝申し上げます。

4R 23クラブに例会訪問しガバナー方針を伝えるに参りました。まず始めに高松東LCに訪問しました。今年度は会員増強純増3名の目標です。特に会員増強についてお願い致しました。と言いますのも期首に3361A地区は86名減、4Rは88名減という不名誉なことでしたゆえにガバナーがなんとかな前を向いて歩けるよう努力しなければならぬRCにあたえられた使命であると思いました。

今期は若い会員を入会させ次の世代を担う人を育てよう。又、家族会員と女性会員を増強し、家族と共に奉仕活動しましょう。又、100周年にふさわしい奉仕をしていこうとお願いして参りました。

高松東LCは今年度会員増強20名目標(その後30名)で頑張りますと言われた時に驚きと元氣のあるクラブだと感銘いたしました。4R 23クラブの皆様には大変ご無理なお願ひばかりで申し訳なく思っております。お陰をもちまして4月末純増53名ですが、5月5名入会した報告も聞いております。今年6月末までありますので、大変ご苦勞をおかけしますが1名でも増強していただければと期待をしております。尚、6月は魔の月と言われておりますので退会がないよう努力してほしい。100周年記念アクティビティにおいてもクラブ単位、Z単位地域に貢献したアクティビティを実行して頂きありがとうございます。各クラブとも会員減少傾向にありますが、創意工夫しながら頑張っておられると思えました。クラブ運営に適した会員数の確保、退会防止が大きな課題であると考えられます。いかに会員増強が必要かわかっていただけたと思います。

真鍋地区ガバナーに初めてお会いした時から、お人柄に心ひかれまして「人の心」を教えていただいたと思っております。ガバナーの心の灯火は一生消えない灯火となって輝くことでしょう。最後にこんびらキャビネット役員、4Rのゾーンチュアパーソン、地区役員、23クラブの会員の皆様にはなんとお礼を申し上げていいか、ただただ頭の下がる思いが致します。心からありがたく厚くお礼を申し上げます。



私の座右の銘



5R-RC
内海 武彦
(多度津)

若い頃、取材などで「座右の銘」と聞かれた時、いつも適当に思いつくまま答えていた気がする。還暦を過ぎ、頸髓損傷もしたからか、残された人生について考えるようになった。そんな頃、思い出した言葉が、伊達正宗の漢詩「馬上少年過ぐ」(※注)の一節である。「不樂復如何」である。「樂しめば良いじゃないか」位の意味と解釈している。そう、自分が楽しんで周りの人達も楽しければ、これがハッピーだと思っている。

さて、私と同年齢の人達はどうな時に楽しいのか。色々聞いてみると、家族、特に孫とのまじわり・・・、私は10分位で飽きるが・・・、仕事で目標を達成した時、又、働いたあとの充実感を味わう時、趣味に没頭し、その仲間とうまい酒をくみ交わしながら語らう時、「遊びの時」などの答えを得た。これらの楽しい時の共通項を探してみたら、そこには、必ず「仲間」と「時間」を見いだせる。やっぱり、人にとって大事なものは、「つながり」だろう。つまりよい社会生活を送る必須の条件なのである。これは、呆けな人程、社会との窓口が多い・・・色

んな場所に顔を出している人は呆けにくいという事実と合致する。

ライオンズのクラブライフを考えてみると、楽しめる要因が一杯ある。そのひとつは、リジョンだけでも8000人を越す仲間がいることだ。二つ目は、つながりを深めることができる例会・奉仕活動という場とがあることである。しかもクラブには、メンバーを楽しませるための役職(計画委員会・テーマ・テールツイスター)が用意されているのだから。これで楽しい人は、楽しもうとする心が乏しいのか、役職の人が責任を果たしていないのである。ライオンズクラブの活動は決して仕事ではない。むしろ、「遊び」に類するものだと思う。仕事は切磋琢磨し、励まなければいけないが、遊びとなれば余裕をもっておこなうものなのだ。

そういえば、昔周年記念の集いでは司会者が、もし間違えがあっても、寛容の精神で、お許しくださいといったものがある。そう。メンバーは皆おらかなのである。「楽しからずや、是れ如何に。」ライオンズライフを楽しみましょう。

※注 伊達正宗の漢詩「馬上少年過ぐ」

馬上少年過 時平白髪多

殘軀天所許 不樂復如何

(平文訳)

馬に乗った少年が目の前を通り過ぎて行く。(その少年に自らの若い頃を想い)今は戦は無くなり平和になった。しかし、私は白髪になってしまった。残された私の命は天が与えてくれたものである。楽しまなくてはなるまいぞ。



RC活動を振り返って



6R-RC
和田 富雄
(高知東)

一年間を振り返ってみますと、昨年5月に6リジョン内の事情がありまして、私は5月25日に真鍋地区ガバナリーより任命を受けました。役員研修会にも参加せずに第1回準備リジョン会に臨みまして、三谷・橋本前ガバナリー名誉顧問には早々に大変お世話になりました事をお礼申し上げます。真鍋地区ガバナリーから「スローガン」「キーワード」を直接に指導される機会がなかったもので、6月5日に開催をいたしました次期クラブ三役スクールに出席させていただきました。今年度の真鍋地区ガバナリー方針が少し理解をすることが出来たような気分で帰りました。6月には、次期5委員長スクールを終えると、8月にガバナリー公式訪問・各ゾーンのカバー訪問委員会に出席をし、早々にクラブ訪問に入りました。6リジョンは17クラブで構成して居り、高知市内から3ゾーンのクラブへの訪問は車で3時間近く掛かりますので、夜の例会に出席するようになりまして、宿泊する事にしました。

た。例会訪問の挨拶として、真鍋地区ガバナリーの運営方針のなかにある新しいことに「挑む」強い気持ちを持ち、101年に向かって、1年間クラブ内の改革に努力してくださいという指導と、会員増強であります。特に郡部のクラブは少子高齢化・人口自然減・社会環境の変化の中で、非常に厳しい状況下であると思いますが、クラブの運営や内規の見直しをしながら、入会しやすい環境づくりをしていただき、会員増強に努めて欲しいとお願いを申し上げます。クラブ訪問から8ヶ月経過しました時点では、クラブの改革については、進まなければならぬ意識改革はできていると思います。来期は、少し動きがある事を期待するところがあります。会員増強についても、入会しやすい環境作りを早く整備をすることが大切だと痛感しております。またクラブの改革だけでなく、ゾーン・リジョン・キャビネットも変えていかなければならないと考えます。最後になりますが、キャビネット役員・17クラブの皆様と出会えたことが、素晴らしい思い出になりました。また6リジョンの地区役員・地区委員・クラブ会員の皆様方には大変お世話になりました。感謝とお礼を申し上げます。有難うございました。



心に休日なしの中にも喜び・・・



7R-RC
東條 節子
(高知よさこい)

今期の一年間まさに光陰矢の如しRCの大役をお受けしてからアツという間に過ぎました。パワー漲る真鍋ガバナリーのキーワード「挑む」に感動し心を燃やしての7R・16クラブの例会訪問の折は、各クラブの皆様温かい励ましを頂きました。会員増強の激励に努め新会員入会式も度々伝え聞き目標達成も夢ではないと思つた時もありました。しかし、次第に退会者ありの声も聞かえ、増員は叶いません。今年に入つて7Rの重鎮のご逝去が相次ぎ悲しく残念でなりません。一方LCIFでは「0のクラブを0に」の目標の件では、少人数で維持しているクラブの協力を頂けて7R全クラブで達成となりうれしく思います。アワードでは継続して青少年育成事業・身体障害者支援の資金援助や労力奉仕が数多く、順位を決めるのに役員全員が悩みました。YCEで嬉しい話がありました。34年前(1982)のカナダの高校生で交換留学生(現在ニュージールランドに家庭を持ち在住)が高知市内のホストファミリーを訪ね両家族で再会を喜び合い、次

はニュージールランドに行きたいと再び絆が結ばれたとの事でした。YCE国際交流の賜物です。7Rでは今期伝統あるクラブの結成記念式典が多くあり、南国LC45周年・土佐本山LC50周年・室戸LC50周年です。室戸LCでは結成当時埋めたタイムカプセルを50周年記念に掘り出し昔を懐かしく偲ぶ感動的な事柄もありました。周年記念事業では地域に根差した多くの奉仕活動を会員一丸となつてご尽力されている様子が頭の下がる思いが致しました。7Rでは今期本来の任務とは別の課題として336A地区ガバナリー覚書のローテーションにより2018年4月開催の第64回地区年次大会で第二副地区ガバナリー選出となつている関係で人選をRCが、ガバナリー候補有資格者の会を開催する役を努める事となり重責に感じました。3回の会を持つ中でガバナリーとして全ての資質を兼ね備えている有資格者の方を満場一致で選定できました。ご本人も快くご承諾下さり安堵致しました。第64回地区年次大会で7Rから第二副地区ガバナリー候補者の誕生となります。誠に喜ばしい事でございます。

7Rの職務は思っていたより多忙でしたが、私の人生で幸せな最良の年となりました。最後になりましたが、7Rクラブの会員の皆様、地区役員・委員・事務局員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。



今期を振り返って



8R-RC
津川 旭
(上板)

昨年4月24日(日)琴参閣で次期地区役員の研修会が開催され、責任の重大さを痛感しながらのスタートから早くも一年が経過しました。今年度ライオンズクラブ国際協会は100周年を迎えました。真鍋地区ガバナーのスローガンにも輝かしい伝統と先人のレガシーを尊ぶ気持ちをこめて「100周年、夢と誇り・笑顔と絆でWe Serve」キーワードは「挑む」でありました。公式訪問では真鍋ガバナーの行動力や情熱が各々クラブ会長に伝わったと感じました。8月3日の阿南ライオンズクラブ例会訪問を皮切りに8R-14クラブの例会訪問に地区役員・委員8名で訪問しました。こちらとしては頼み事や無理ばかりを言ったにもかかわらず暖かく歓迎をしていただき本当に有難うございました。たくさんの人と出合いアルコールの力も少し借りながらいろいろな話に花が咲き楽しいひとときでもありました。又、自分のクラブと比較して参考に

なることがあり今後に活かしたいと思います。今年度も合同アクティビティを模索していたところ、7月15日付の徳島新聞に熊本地震の発生から3ヶ月経過しましたが、復興遠く支援継続をと県人大学生が呼び掛けしていたので、熊本地震復興支援チャリティーゴルフコンペを計画し、各クラブからお世話人を選任していただき眉山カントリーさんにもご協力いただき11月3日に開催し、206名の参加者と、都合で参加出来なかったクラブ、有志の方々からのドネーションも含めて46万9500円集まりました。11月20日の第2回キャビネット会議の席で真鍋地区ガバナーに直接お渡し出来た感動と各クラブへの感謝の念でいっぱいでした。誠に有難うございました。最後になりましたが、初めての地区役員という事で何も出来ず後手ばかりでしたが、地区役員、地区委員、各クラブの会長さん、会員皆様方のご支援、ご協力本当に有難うございました。



女性活躍の一年



9R-RC
安田 勝代
(徳島藍)

若葉の美しいさわやかな季節となり、私の任期も1ヶ月余りとなりました。振り返ってみますと今年度は9Rに於きましては激動の船出となりました。前年度に2クラブの解散があり、ゾーンの再編成も検討された様ですが結局2Zと3Zが統合となり従来の3Z体制から2Z体制になりました。当然クラブ数、会員数が大幅に減少となりました。9Rの13クラブは徳島市内から県西部の阿波池田までと広範囲にわたっており、また山間部のクラブでは会員の高齢化と減少に苦労されておりますが、今期の現在会員数は16名の純増で推移しております。第63回年次大会の登録者数も36%を超えました。これも2人のZCと各クラブ会長が頑張つて下さったお蔭だと感謝しております。コンパクトな9Rですが今後地道に発展を行ってくださる事を祈念しております。

私の任務に關してですが、この1年間はライオンズファーストでした。まず就任前の6月に次期クラブ役員、クラブ5委員長スクールを開催致しました。主宰者としての初の大きな会議でしたので出席者の取りまとめや資料の作成等大変な苦勞を致しました。8月に開催されました地区ガバナー公式訪問は真鍋ガバナー始めキャビネットの皆様をお迎えして、和やかな実り多い会議となりました。真鍋ガバナーの「命懸け」の熱心な姿勢に各クラブ会長も真剣に会議に臨まれました。

100周年の今期、国際協会で女性の入会が認められて未だ30年ですが、3361A地区では9名のRCの内3名が女性です。又9Rの地区役員委員8名の内女性が3名と女性の活躍が素晴らしい年度となりました。私もこの記念すべき年にRCを務めさせて頂き光榮に思っております。この1年間キャビネット会議等を通じて四国4県の状況や県民性を深く知る事が出来ました。最後になりましたがキャビネットの皆様、9Rの役員、会長、会員の皆様のご協力により大役を全うする事が出来ました事、感謝致しております。



徳島ライオンズクラブ

徳島ライオンズクラブ60周年

60周年記念事業の実施方法について、委員会を立ち上げ協議した結果、50周年の次は75周年との意見もあり、今回は華美に走らない内輪の記念例会とする事に決めました。開催予定を2017年2月5日と定めキャビネットに通知した処、折り返しがバナー出席したので日時を変更してほしい旨、連絡がありました。

会員と再度協議の結果、式典はガバナーのご臨席に相応しい規模、そして貴重な連休を割いてご出席頂く参列者への十分なおもてなしを念頭に、スポンサークラブ以外は徳島県内のメンバーに限定してご招待する方法に変更して実施する運びとなりました。

当日の2月12日は天候に恵まれ、真鍋ガバナー始め地元役員・OBの方々、会員など100名のご出席を賜りました。

我がクラブは他に先駆け還暦を迎えましたが、会員の平均年齢も先頭を走っています。式典では永年在籍会員2名を紹介させて頂きました。そのお一人、大櫛ライオンは今年白寿を迎えられてなおお元気で奉仕活動に勤しんでおられます。

これからも会員一同、初心に返り「We Serve」の精神を実践していきたいと思っています。

〈会 長 本庄 一雄〉
〈大会委員長 寺田 正博〉



（大櫛氏は大会終了の2週間後、外出中に自転車から転落。頭部を損傷されその後他界されました。クラブに取って偉大な先輩を失い残念でなりません。ご冥福を心よりお祈り申し上げます）



北条ライオンズクラブ

結成55周年記念例会1322回

を終えて

私ども、北条ライオンズクラブは、平成29年5月28日（日）愛媛県中予地方局長福井琴樹様、松山市参与大町一郎様をはじめ、地区ガバナー真鍋隆様、地区ガバナーエレクト川辺信郎様、地区名誉顧問宮内浩四郎様や地区役員、ブラザークラブ、姉妹提携、兵庫県より加西北条ライオンズクラブの皆さんをお迎えして盛大に挙行することができました。

松山市に北条市が12年前吸収合併された会員が多数退会し、1R最低の会員数でスタートしました。次年度の継続が難しいなか真鍋ガバナーやキャビネットの方々に平成28年12月1日の例会に来ていただきお話しを賜り会員の気持ちがひとつになり来期も続ける事ができますことに感

謝いたしております。

記念事業も予算の関係でふわり体育館、北条地区の小学校、中学校、各学校に一校ずつ訪問し車椅子を贈りました。贈呈の際校長先生不在の学校もありましたが、翌日私の会社を訪れ「車椅子が欲しかった、ありがとうございます」と暖まる言葉をいただきました。

親睦会では紅白のお餅まき（沖様）ありがとうございました。大好評でした。

私自身二回目の会長でしたが真鍋隆ガバナーには感謝、感謝、感謝です。

〈会長 清水 俊彦〉





10月15日（土）に結成55周年記念例会として「鳴門海月」で実施した。55年の間に1323回の例会を数え、年月の重みを感じる。

渦潮を楽しんだ後、6時30分に例会開始。梯会長より「徳島中央ライオンズクラブは、本日の例会をもって55周年を迎えることができました。先輩諸氏の努力により今日を迎えることができたと思っております。私たちは歴史と伝統を引き継ぎ、会員を増やし、奉仕活動を充実させ、60周年へ向け歩んで行きたいと思います」と挨拶。

真鍋ガバナーから贈られた祝電を関幹事が披露し、結成55周年記念事業としてLCIFに1人1000ドルの献金をした報告がなされた。梯会長が「クラブの益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、乾杯！」とグラスを掲げた。

鳴門といえば「鳴門鯛」だが、船盛&お造り&荒炊き&酢物&釜飯にテーブルに並び鳴門鯛を堪能した。



徳島中央ライオンズクラブ

「鳴門海月」にて結成55周年記念例会を実施



大方ライオンズクラブ

大方ライオンズクラブ
50周年記念式典を終えて



二〇一七年五月二八日、さわやかな初夏の佳き日に、黒潮町ふるさと総合センターにおいて、高知県知事尾崎正直様、黒潮町長大西勝也様をはじめご来賓の皆様、3361A地区真鍋隆ガバナーほか地区役員各位、スポンサークラブ、ブラザークラブの多くの皆様方にご臨席を賜り、大方ライオンズクラブ結成50周年記念式典を盛大に開催することができましたことに、クラブ会員一同心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

私ども大方ライオンズクラブは、1967年5月27日中村ライオンズクラブ（現在の四万十ライオンズクラブ）のスポンサーにより県下15番目のライオンズクラブとして結成さ

れ。以来50年間、半世紀にわたりスポンサークラブをはじめブラザークラブの温かいご指導ご支援を頂きながら「ウイサーブ」をモットーにライオニズムの高揚と地域に根差した奉仕活動に取り組んで参りました。またささやかながら50周年記念事業も行うことができました。

いたらぬ点お詫び申し上げますとともに、黒潮町立大方中学校吹奏楽部の皆様、ルアナと楽しい仲間たちの皆様には大変盛り上げて頂きました。これからは六十周年目指し取り組んで参ります。

〈会長 矢野 博幸〉

50th
Anniversary

室戸ライオンズクラブ

50年前のタイムカプセル

高知県室戸市は四国の南東に位置し全国有数の灯台が在り、台風と言えは室戸岬と連想されるほど有名で近海・遠洋漁が盛んだった町でした。

その室戸市に、1967年（昭和42年）3月29日に室戸L.C.が結成され今年50周年を迎えました。第1回の結成記念大会で、交通安全を祈念して「交通安全」の碑を建立しました。その碑の台座にタイムカプセルが埋設されています。今年結成50周年記念に際し室戸警察署「署長申し送り文書」の中に記載されている

事が分かり無事開封出来ました。交通安全お札、お守り・室戸署の署員名簿・室戸L.C.名簿・室戸市沿革・室戸市写真フィルム・埋設記事掲載新聞など入っておりチャーターメンバーが我々に託した思いを感じました。頑張って奉仕しなさい。この思いを後世会員に託すため、100周年に向けて新タイムカプセルを埋設します。室戸L.C.が末永く続きますように。我々は奉仕をする。

〈会長 松本 和也〉



50th
Anniversary

土佐本山ライオンズクラブ

「早明浦ダム」所在の嶺北地域——土佐本山L.C.結成50周年記念式典が挙行される！

去る3月19日、高知県の嶺北地域に所在する土佐本山ライオンズクラブにおいて、クラブ結成50周年の記念式典が挙行されました。

この嶺北地域は吉野川上流の四国の中央部の山間に広がり、四国の水がめ「早明浦ダム」で知られていますが、近年の農林業の衰退で年々過疎・高齢化が進む中で「地域の活性化・青少年の健全育成・環境保全・福祉への貢献」クラブの基本目標に掲げ、地域に密着した様々なクラブ活動を続けており、本年3月でちょうど50周年を迎えました。

50周年の記念事業では、本山町の老人福祉施設や土佐町公園への春を

呼ぶ河津桜苗木50本の記念植樹や、地域の青少年スポーツ団体、中高吹奏楽部から13団体への寄付事業、記念誌の発行を行いました。

式典には真鍋隆地区ガバナーはじめ、役員の方々と県内ブラザークラブから多数のクラブ員が参加され、地元中高の吹奏楽部の厳かな演奏のなか、盛大かつ厳粛な記念式典が実施されました。

また、記念式典終了後の祝宴は、地元クラブ員の祝吟が始まり、地域の有志や土佐本山L.C.未来図ボーイズのバンド演奏、ジャンケン大会などのアトラクションが行われ、大変盛り上がりしました。



50th
Anniversary

鴨島ライオンズクラブ

結成50周年記念大会を終えて

2017年2月19日(日)、セントラルホテル鴨島において鴨島ライオンズクラブ結成50周年記念式典を開催しました。

記念式典は、講師 大塚製薬(株)常務執行役員 櫻井千秋さんの「現状を変える突破力」の記念講演会に始まり、式典、記念祝宴の3部構成で行いました。

式典には、ご来賓の皆さまをはじめ、真鍋336-A地区ガバナー、地区役員、県内ライオンズクラブ、姉妹クラブの喜禎337-D地区ガバナー、喜界ライオンズクラブの皆さま、多くの方々のご臨席を賜り、また温かいご祝辞を頂戴いたしました。

記念事業は、昨年4月より11の多岐にわたる事業を展開してきました。一つひとつの事業は鴨島ライオンズクラブの伝統と文化が込められているものと自負しております。

記念式典を終えてホッとするとともに、たくさんの方々に支えられて挙行できました。皆さまの友情に感謝感激しております。

ありがとうございます。

〈会長 谷本 一夫〉

平成29年2月10日ご来賓の三木参議院財務政務官、飯泉徳島県知事、川真田吉野川市長をはじめ336-A地区真鍋地区ガバナー、地区役員、ブラザークラブ、県内のライオンズメンバー等のご臨席を賜り特に姉妹クラブの337-D地区の喜禎ガバナー、園田会長はじめ喜界ライオンズクラブのメンバーの皆様の遠路はるばるご列席を賜り結成50周年記念大会を挙行できました。

鴨島ライオンズクラブは1967年2月15日徳島西ライオンズクラブのスポンサーにより結成されました。以来、本年度50周年を迎えます。

そして、本年50周年谷本会長はスローガン「融和そして躍動感をもってウィサーブ」キーワード「継続は力なり」のもと事業が展開されています。

今回の記念講演会講師として大塚製薬株式会社常務執行役員の櫻井千秋さんに「現状を変える突破力」の演題で講演して頂きました。無謀なチャレンジも迷わず受けるべきだとまず第一歩を踏み出すことの重要性を説かれ感銘を受けました。今後のライオンズ活動に生かしていきたいと思えます。

今後とも、60周年70周年と生成発展するよう頑張る所存です。感謝を込めてウィサーブ

〈50周年大会委員長 市村 通夫〉

40th
Anniversary

高知柏ライオンズクラブ

高知柏ライオンズクラブ結成40周年記念大会を終えて

私ども高知柏ライオンズクラブは、昭和52年2月、高知桂ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、以来40年間スポンサークラブの温かいご指導と、ブラザークラブのご支援を頂きながら周年を迎える事が出来ました。

当日は岡崎高知市長はじめ、336-A地区ガバナー真鍋隆雄や地区役員の皆様方、又何といっても遠路はるばる北海道帯広市から姉妹クラブメンバーも沢山お越し頂き、式典を盛り上げてくれました。本当に山のライオンの皆様にお礼申し上げます。

祝宴に於いては、当クラブの伝統芸・柏歌舞伎座「白波五人男」を今回も演出しましたが、楽しんで頂けましたでしょうか？

文字通り「信頼と固い絆でウィサーブ」これを機会に45周年に向けて、クラブ会員相互理解の精神の元、更に奉仕活動に精進し、仲良く力を合わせ頑張る所存でございます。今後とも温かいご支援を賜ります様お願い申し上げます。

〈会長 三谷勝水〉





徳島城山ライオンズクラブ

結成40周年記念式典を迎えて

清々しい初夏を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2017年3月21日徳島グランヴィリオにおいて、「徳島城山ライオンズクラブ結成40周年記念式典」を開催致しました。

当日は徳島県知事飯泉嘉門様をはじめ、ライオンズクラブからは真鍋隆ガバナー、谷野元国際理事、姉妹クラブの米子城山LC様、松山城山LC様等多数のご参加を頂きました。本会はこれまでの活動を再確認し、今後の活動を活発化するための重要な大会でしたが、式典にあたり、各担当委員の皆様にはお忙しい中それぞれの責務を遂行して頂きました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

また、40周年記念事業といたしましては、40本の記念植樹、盲導犬育成のためのチャリティコンサート、小学生バレーボール大会等を開催し、期待以上のアクティビティの成果を得ることができました。



ライオンズクラブという組織は、一人では実現できないこともメンバーの協力により、やり遂げるシステムが確立されていることを実感致しました。これらの活動実績を財産として、今後さらなるステップアップを目指していききたいと思います。

〈会長 長 豊岡 隆司〉
〈40周年記念大会委員長 阿部 幸市〉



板野ライオンズクラブ

「40周年記念」

皆様へ感謝を込めて

平成二十九年四月二日、阿波観光ホテルにて40周年記念式典を終えました。行政関係のご来賓の方、真鍋隆地区ガバナー始め多くの方々のご臨席を賜り、あたたかいご祝辞を頂きありがとうございました。

式典に先立ちまして、歴代会長会員の皆様が地区奉仕のため残した浄財で、板野町給食センター前に時計塔一式を寄贈させて頂きました。

「一人一役」「特技を生かす」の運営方針に基づき、準備期間が短い総務がしっかりと担当を定め、記念誌、広告（多くのご協力を頂きました）お土産、厳かな中にも和やかな式典祝宴、ゴルフ等、経費も節約して手弁当で、みんなの知恵と努力のお蔭で成功したものと感謝しています。お見送りの際、「よい式典だったね」「よかったよ」と笑顔で声をかけて頂きました。あたたかいお心づかいにも感謝致します。本当に皆様ありがとうございました。

〈会長 和田 寿子〉





私ども、松山北ライオンズクラブは、平成29年3月26日にクラブ結成35周年記念式典を挙行いたしました。当日は、愛媛県知事、松山市長をはじめ、各界のご来賓各位と真鍋隆地区ガバナー並びに地区役員・地区委員のご臨席を賜り盛会にて無事終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、35周年記念事業といたしまして、愛媛県立とべ動物園、愛媛県総合運動公園に県内産木材を使用した木製ベンチ、愛媛県在宅介護研修

センターへ入浴介助研修用椅子、松山市愛顔つなぐえひめ国体にはジャンパーの目録贈呈、また愛媛県柔道協会、愛媛県ハンドボール協会、及びNPO未来クリエーションへは活動支援金等を贈呈させて頂きました。たくさんの方々を支えられて、35周年を迎えることができました。これからも会員一同、地域の方々への奉仕活動を通じて、社会貢献して参りたいと思います。

〈会長 高橋 慎哉〉



記念事業としては、①愛媛アイバンクに寄付金贈呈や、②第14回金亀杯少年ソフトボール大会において音響機器

30周年を迎えられましたことに際して会員一同感謝すると共に、今後も国際親善交流を深めて、地域社会や会員相互・家族の絆を大切に、人々に愛されるライオンズクラブとして次なる山を目指して邁進する所存です。

〈会長 横山 伸也〉



結成35周年記念式典を終えて

松山北ライオンズクラブ



結成30周年記念式典を終えて

松山金亀ライオンズクラブ

平成29年5月18日、清々しい五月晴れが快い佳き日に、松山全日空ホテルにおいて、真鍋隆地区ガバナーをはじめとする多くの御来賓の皆様、また遠路遙々お越しいただいた姉妹提携クラブである、台湾・宜蘭ライオンズクラブ鄭焜輝会長をはじめとする22名の皆様をお迎えして盛大に結成30周年記念式典を開催することができました。

贈呈、③松山市青少年育成市民会議が主催する「オーバーナイトハイキング2016」においてグループ旗40旗の贈呈を行い、④第3回環境保全アクティビティではガールスカウト2団体に活動援助金を贈呈しました。また、⑤松山城太鼓門前の案内看板を国際化に伴い4カ国語に対応したものにリニューアルし、⑥愛媛マングリンパイレーツ公式戦に少年選手と保護者約410名を無料招待するなど、⑦ライオンズクエスト支援金贈呈もあわせて7つの記念事業を実施いたしました。



松山城山ライオンズクラブ

結成20周年記念式典を迎えて

本年2月25日に松山城山ライオンズクラブ創立20周年記念式典を、真鍋ガバナール、近兼幹事をはじめとする多くの御来賓の皆様、地区役員の皆様、ブラザークラブ、姉妹クラブの皆様をお迎えして盛大に挙行できましたことクラブ会員を代表して心より厚くお礼申し上げます。

今年度は、これまで19年間続く見奈良特別支援学校での「クリスマス音楽会」を20周年記念事業として拡大して行いました。毎年音楽とサンタからのプレゼントを楽しみにしてくる子供たちの笑顔は私たちの宝物です。



見奈良特別支援学校でのクリスマス音楽会



松山城に寄贈した木製ベンチ



松山盲学校の生徒さんと役員さんとの交流会

また、5周年で松山城に木製ベンチを寄贈しましたが20周年記念では災害時に防災かまどベンチを3か所に寄贈させていただきました。

松山盲学校の生徒さんをミュージカルにご招待しました。劇場に来るのは初めての方がほとんどでしたが皆さん舞台を楽しんでいた。終演後の役者との交流会では質問が次々に出て楽しくまたとても感動的な交流となりました。今回は周年事業で行いましたが次年度から継続事業にすることも検討しております。

百周年記念コミュニティ・レガシープロジェクト

高松北ライオンズクラブ

動物愛護講演会の実施

6月3日(土)午後、かがわ国際会議場において、女優で公益財団法人動物環境・福祉協会Eva理事長の杉本彩さんをお迎えし、「命の尊厳と和」と題した百周年記念講演会を開催いたしました。

講演に先立ち、将来は獣医になりたいという小学6年生の中北まなはさんが動物への思いと日ごろの活動を読み上げ、浜田香川県知事と大西高松市長に対して、殺処分ゼロ実現へ向けたお願いをしてくれました。

そして、杉本彩さんは国内の犬猫殺処分の状況や飼い主マナーの問題、さらには悪質な繁殖業者の問題に至

るまで、動物愛護に知識のない人にも理解しやすく且つ心に残る講演をしてくれました。

二百人以上に参加いただいた講演会の様子は、当日のNHK四国枠のニュースでも紹介され、大きな反響がありました。

みなさんにあらためて感謝するとともに、101年目も、更なる社会奉仕活動を実践してまいります。



第35回韓国354-D 地区年次大会参加報告



地区年次大会副委員長

内海

孝 (坂出白峰)

5月10日から12日まで2泊3日
336-A地区真鍋隆ガバナーを
団長とする韓国訪問団総勢21名の行
動を報告致します。

まず、岡山空港8:30集合、10:00
出発に際し、

(1)ガバナー御夫妻、東條氏、森氏、
運転手内海の5人組は順調に予定
時間前に空港到着。他参加者の集
合を出迎える。

(2)高松からの松前元ガバナー達3
人組(JRリムジンバス使用)

のうち、岡森前会長がバスポート
持参忘れを岡山駅前から空港リム
ジンバス発車直前に発覚し、高松
へ一人トンボ返り。しかし、この
日の飛行機同行は出来るはずもな
し。我々男供であれば今回はキャ
ンセルやむなしのところ、彼女の
訪韓に対する執念強さ(深さでな
い)、いろいろ手を廻し、1日遅

れでD地区年次大会オープニン
グ、336-A地区訪問団入場に
ギリギリセーフ。おみごとでし
た。

(3)キャビネット幹事とYCE・国際
関係・ライオンズレオ委員長の2
人組別動隊の車は、岡山ICで出
るところを通過してしまい、次の
ICで一般道に出たもののナビが
うまく案内せず?山道を汗かきか
きずいぶん時間を費やし、冷汗で
到着、なんとかセーフ。

(4)その後、空路仁川空港までは、朝
の出発が早かったせいもあり、機
内のビール一杯(缶1本)でいい
気分であつた。よって、他の方
達のことであれやこれやとわから
ず。

【仁川国際空港到着】

ツーリスト事前の情報で、現地旅

行社のバスガイドが昨年高知訪問団
の時と同一人であると報告を受けて
いたので、今回こんびら訪問団に
とって好都合、この上なく我々の我
まま、気まま方向転換随時OK存分
に。

入国手続き後、何時もと変わら
ず、出口での354-D地区役員達
の温かいお出迎えを受け、1ヶ月ぶ
りの旧交を熱い熱いハグで。今夜の
歓迎会の熱さを予測。

(5)空港から昼食会場へのバス車中、
さつそくガイドと今回のソウル滞
在行動の打ち合わせ、ほとんど
我々の希望をざっとしてる間に、

昨年と同じビビンバの店でこれま
た同じ部屋にとおされ、さつそく
ビールで軽くカンパいのつもりが
いつの間にやら「マッコリ」「焼
酎」の音が遠慮なし。まあ、これ
もいつもと同じようなものだが、
今回はうまい「チヂミ」を用意し
てもらっており、帰りの昼食は焼
き肉カルビをガバナーが準備しよ
うかとの話もあり、皆否応無く大
賛成。ガバナー太っ腹の声も!

(6)昼食後、満腹で次の予定地、韓国
の世界遺産「昌徳宮」チャンドッ
タン観光へ向かう途中のこと、先
程のアルコールのせいでトイレ要
請。運転手の機転でガソリンス
タンドの「トイレOK」の看板
が出るスタンドでスッキリ顔。
昌徳宮では、今回中国人、台湾人
の姿はなし。北朝鮮問題のせい

で、ビザが発給されない措置の為だと
か、訪問前の日本報道で訪韓可否
気に病んだことを思い出す。しか
し、韓国はいつもと変わらず朝鮮
問題を全く気にしていない様子。今
も戦時(休戦)中というところ
か。ところが、宮殿近くに來ると
観光バスの多さ、混雑ぶりに圧倒
される。韓国の小学生、中学生、
高校生の集団がわんざわんざで遠
足や修学旅行らしい。でも宮廷ド
ラマで見たような造りの荘厳な建
物群に「オー、ホー、スバラシ
イ!!」日本人も欧米人なみの感
嘆詞。

ところで、これから今回の訪韓
佳境に入るところのレポートであ
るが前年と同じ、熱烈歓迎、にぎや
かで歌謡ショーとも思える盛大な年
次大会終了後の送別パーティー、各
年の総裁の個性でバラエティーに富
んだものがあるが、今回も熱く盛り
上がった。そして、次年度徳島での
再会を約し公式行事が無事終了。そ
の夜のホテルでは、関野次期第一副
地区ガバナーの部屋で情報交換、無
礼講での酒盛り深夜まで。というと
ころで誌面の都合上割愛といたしま
す。

今回もリポーター役失格でごめん
なさい。

でも次回もD地区訪問参加者の一
員としてオジャマムシの予定。

高松フェニックスライオンズクラブ

特別支援学校の生徒によるレオクラブの結成

この度、高松フェニックスライオンズクラブのスポンサーにより、香川県立高松養護学校の生徒7人をメンバーとする、「高松しらうめレオクラブ」が結成され、6月27日に、結成式がおこなわれました。

高松養護学校は、香川県で唯一の肢体不自由の特別支援学校であり、さまざまな障がいのある子どもたちが、自立に向けて日々学習に取り組んでいます。

校章には「梅」があらわれており、これは、「子どもたちが、厳しい冬のなかでも美しく清らかに咲く梅の花のように、多くの苦難を乗り越えて花を咲かせ、社会の役立つ実を实らせてほしい」という願いが込められおり、「高松しらうめレオクラブ」の名前はこれにちなんで、生徒が命名したそうです。

これまで、高松養護学校の子どもたちは、ライオンズクラブをはじめ、いろいろなところから支援を受けてきていました。これからは、レオクラブの活動を通じて、さまざまな経験をすることによって、自分ならではの花を咲かせ、大きな実を实らせて欲しいと思います。

「高松しらうめレオクラブ」は、



「高松しらうめレオクラブ」は生まれたばかりですが、その意気込みに応えたいと思います。

香川県初のレオクラブであり、特別支援学校の生徒で結成されるものとしては、少なくとも国内初となりますが、これもひとえに、学校、保護者などの協力や理解、関係の皆さまのご尽力によるものであり、深く敬意と感謝の意を表します。

結成式において、山根誉与レオクラブ会長は「新たな歴史と伝統への一歩踏み出します」と力強く意気込みを語りました。



埋め草掲示板②

四国はひとつという
面白いはなし

昨年12月、母の三回忌法要の時住職さんよりあいだみつをさんの詩を引用して、興味深い説教を聞かせていただいた。

四国の人達はみんな親戚で
繋がっています！

自分の命は父と母から頂いていますね。父と母で二人、父と母の両親で四人、そのまた両親で八人、こうして数えていくと十代前で1,024人、十九代前では1,048,575人。なんと香川県の人口を超えるのです。そして二十一代前では4,194,303人。四国の人口を遥かに超えるのです。父と母だけでこの数ですから、当然兄妹がいます、おそらく十五代から十八代前に遡ると、ほとんどが親戚でみんな血が繋がっていると思いますよ！けんかをしてはいけません、人の悪口を言っちゃいけません。みんなで助け合いましょ。仲良くしていきましょ。そして何よりも奉仕の精神が大切ですよ。四国はひとつです、四国はひとつの家族です・・・



特／別／寄／稿

ライオンズの「学問のススめ」六十の手習い

Magandang umaga

(マガンダン ウマガ)

これはフィリピン語で「おはよう」です。umagaは朝を意味し、昼はlanghali (タンハリ、12時～13時)、午後はhapon (ハーポン、13時～夜はgabi (ガビ) となります。

私は本年3月まで、愛媛大学で「フィリピン語」を1年間受講しておりました。おそらく愛媛大学では最高齢に属する学生だと思えます。登下校時には、正門の守衛さんに、学内では学生に挨拶をされ、新入生からは場所を尋ねられ、外国人講師の方からは、Are you a teacher? と聞かれ、エレベーターでは優先搭乗を勧められます。

愛媛大学では英語以外で選択可能な外国語科目は、仏語・独語・中国語・朝鮮語・フィリピン語です。その中で、何故フィリピン語を受講したかと言うと、ライオンズの模範回答は、日本のライオンズクラブのオリジナルスポンサーが、フィリピンのライオンズクラブだったからです。ライオンズにおいては、日本とフィリピンは切っても切れない深い

親子関係にあるからです。

終戦間もない1952年3月、フィリピンのマニラ・ライオンズクラブのスポンサーによって東京ライオンズクラブが設立されました。このクラブ設立が今日の日本のライオンズクラブの隆盛、会員13万人余の広範な奉仕活動へと繋がっているからです。現在、東京ライオンズクラブは、種々の交流を通じてマニラの名誉市民となっています。フィリピンとの交流アクティビティに敬意を表したいと思います。

さて、愛媛大学のフィリピン語の授業は、毎週2回32週(1～4クォーター)にわたる開講で1年間を通して同じ先生が担当する講義です。私を含めて受講生にとっては初めて経験する言語のため、全員同じラインからのスタートと考えており、多少戸惑うところもありましたが「何とかなるかな」と甘く考えていました。現実には、大きく考え違いをしていました。それは、周りの学生がほぼ18歳で、彼らの持っている学習意欲・自習時間の壁、記憶力の壁、そして言語を聞き取る力・聴

力の壁でした。

担当教員は東南アジア史が専門の菅谷成子教授で、10人ほどの少数クラスで密度の濃い内容で、厳しくも思いやりのある1年間の講義であつたと感じています。

楽しい思い出としては、2016年6月に福岡で開催されたライオンズクラブの世界大会において、フィリピンライオンズクラブのメンバーにフィリピン語で挨拶・自己紹介を行って大歓迎されたことでした。ただ少し残念であつたのは、フィリピン語で挨拶したのに、返ってきたのが半分英語であつたことです。しかし、フィリピンでも英語の使用が増えて来ているところに、日本(福岡)で日本人が純粋な(?)フィリピン語で挨拶をしたことに感激したことでした。大変うれしい出来事でした。

仕事との兼ね合いもあり調整が難しく苦労もありましたが、大学での受講を続けると共に、ライオンズの奉仕の努力も継続しようと考えているところです。



愛媛大学城北キャンパスにて

〈松山西ライオンズクラブ〉

澤田 有馬



指導教員 菅谷成子教授(左から3人目)とフィリピン語受講生たちといっしょに

特別寄稿 四国の偉人 香川県



幕末の奇傑

くさ なぎ えん せき

日柳燕石



燕石会 鈴木 浩

- 琴平町榎井公民館長
- 琴平町文化協会副会長
- 日柳燕石会事務局長

(住所)

香川県仲多度郡琴平町
榎井四〇五番地

呑象楼

こんぴらさんが鎮座する象頭山の麓、榎井小学校の片隅に、二階建ての民家が建っている。「呑象楼」である。横に日柳燕石の胸像が並んで建っている。香川県出身の彫刻家、小倉佑一郎が、第九回帝展で「山陽先賢の碑」として、日柳燕石、久米通賢、平賀源内の三人の胸像を展示した一つである。呑象楼は天保年間、興泉寺住職廓栄が先代の隠居所として建てたものである。

嘉永六年（一八五三）十二月末から、日柳燕石三十七歳が四十九歳まで住んでいて、多くの詩人、学者、勤王の志士達が訪れた。昭和二十九年、保存のためにこの地に移築復元したものである。

同志達と二階の西面に開いた窓か



ら、象頭山を盃に浮べ飲み干しながら時事を論じ、情報を共有し、尊王攘夷を語った。燕石は、国力を蓄え、外国と対峙し、交易を行い、世界は平等であるべきと考えていた。多くの人が出入りし、幕吏から逃れて来

た同志を匿い、呑象楼は梁山泊の様であった。

詩人として

燕石は榎井の「加島屋」という資産家の家に生まれ、兄姉は幼くして亡くなり、一人息子として大切に育てられた。幼少より学問に励み、神童と呼ばれ、書画に親しみ、漢詩を得意とし、七、八千首を詠んでいる。全国的に詩人として高く評価され、特に楠正成を詠んだ「楠公を詠ず」日本に聖人有り……」の詩を、仙台藩の大槻磐溪は、「前人未だ発せざる所」といい、尾張藩の大沼枕山は「僅々二十字頼翁（頼山陽）の千百字に勝る」と評している。また近代では、吉川英治も「炎は流れる」の中で高く評価し、山本五十六は、この詩を自書した掛け軸

侠客として

榎井は天領で、二十数軒の豪農、豪商が軒を並べてた。治めていた代官は、倉敷藩、生野藩、松山藩と次々変わり、政治的不安もあり、賭場もあり、治安は甚だ悪かった。各々自家防衛のため、用心棒を雇っていた。燕石は、十八歳の時、正義感と俠気から米騒動に巻き込まれ、松山藩川之江の牢に入れられた。二十一歳の時両親を相次いで亡くし、二十九歳の時「加島屋」を売却した。名門で学があり、度胸のすわった燕石は、用心棒を統帥し、賭場を仕切り、親分と呼ばれ侠客として知られていた。

が江田島の海上自衛隊の記念館に展示されている。

長州との繋がり

吉田松陰の師、森田節斎が国士として、また特異な人物として燕石を松陰に伝え、富永有隣が会いに来た。互いに意が通じ、長州と深い繋がりが出来た。高杉晋作と愛妾「うの」を匿い逃した話は有名である。高杉は同志、入江和作に手紙で「日柳氏は博徒の頭、子分千人ばかりもこれ有り、学問詩賦も腐儒迂生の及ぶ所にこれ無く、実に関西の一大侠客に御座候。議論符号、益を得ること少なからず」と書いて送っている。燕石は美馬君田、長谷川佐太郎等と匿っていたが、幕吏に知られ、二人を逃がした罪で、高松藩の牢に四年間入れられた。獄中、藤川三溪等と再会、世の弊害不正を論じ、皇国千字文、正気の歌、娑婆歌三解を作り、志操益々堅く衰えることはなかった。

奇傑燕石

慶応四年（明治元年）一月二十日、赦され牢を出るや、難を受けた高松藩を朝敵の汚名から濯ぎ、戦火から守るため、同志と奔走、二月、木戸孝充の招きで京に上り、書を朝廷に奉り、金盃を賜った。木戸は燕石を先生と呼び、行動を共にし、多くの志士達と再会した。鍋島藩主の詩酒の会に招かれたり、伊藤博文に接待されたりと多くの人に歓待された。閏四月十二日木戸と共に中国九州を遊説し、国家維新の本質（版籍奉還）を説き、九州に於いて、キリスト教徒の問題を解決した。長州では松蔭先生を称える詩を墓前で作り、高杉の墓で涙し、東行庵で、高杉の墓を守る「うの」と再会。それぞれ詩を残している。

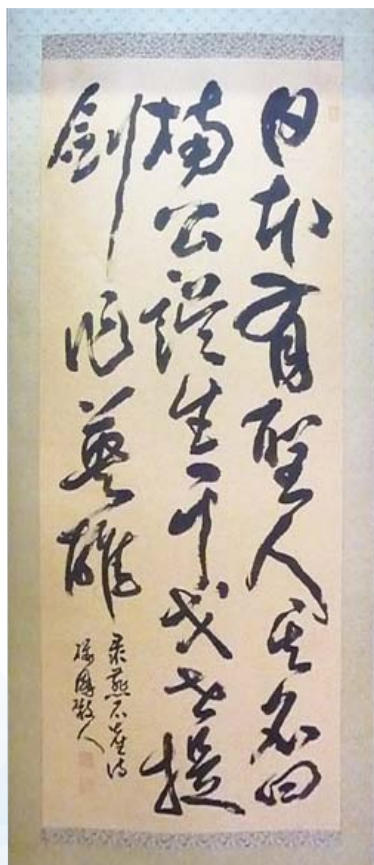
六月二十二日北越征伐六総督仁和



日柳燕石自画像

寺宮（小松宮様）の軍務官日誌方として従軍、八月二十五日病に斃れた。宮様から「大桜定居彦」の諡号を賜り、越後の地に、同志達によって手厚く葬られた。柏崎神社に燕石の碑も建てられた。燕石に匿われた柴原和は第二代香川県知事として榎井小学校に巡視で訪れ、詩を残している。燕石に朝敵になるのを救われた上州館林藩士の野田元熙は明治三十六年香川県知事として赴任。燕石に従四位を申請した。燕石は名誉、体裁、物質等顧みることなく、身命を賭し、何等求めることなく、悠々と為すべきことをなし実行した。

侠客で詩人、学者で勤王家、酒をこよなく愛した。世界地図を広げ、書を読み、平和を願い行動した。燕石の研究家、武岡豊太は、「知らざれば知らぬもよしと真心を包みて君は世を過しけむ」と詠んでいる。



大西桜国書
日柳燕石翁作（楠公を詠ず）



琴平町榎井にある日柳燕石の墓



長谷川佐太郎生家跡

336-A 地区会員現況

(2016年7月1日～2017年5月31日)

R	Z	クラブ名	期首	5月末	子会員数	増減
1	1	松山ホスト	37	42	0	5
		久万	20	19	0	-1
		松山東	50	56	0	6
		砥部	53	54	15	1
		松山つばき	58	58	25	0
		松山城山	40	43	0	3
	2	松山道後	54	55	0	1
		伊予	46	42	0	-4
		松山西	51	55	2	4
		松前	21	25	0	4
	3	松山北	43	44	12	1
		松山湯築	36	43	4	7
		松山城東	23	28	0	5
		北条	17	19	0	2
		松山中央	103	114	0	11
		松山南	37	45	0	8
		東温	27	24	6	-3
2	1	松山金亀	43	45	6	2
		松山白鷺	78	79	4	1
		松山センチュリー	0	43	3	43
		R合計	837	933	77	96
	2	新居浜	56	59	2	3
		新居浜中央	36	41	9	5
		新居浜別子	32	29	1	-3
		新居浜ひうち	32	37	1	5
		今治	75	76	15	1
	3	今治中央	53	55	3	2
		今治東	55	55	2	0
		今治くるしま	48	49	4	1
		伊予三島	39	39	1	0
3	1	川之江	61	58	14	-3
		伊予土居	69	64	32	-5
		四国中央法皇	39	39	2	0
		川之江中央	40	40	14	0
	2	西条	70	68	20	-2
		東予	37	38	1	1
		伊予小松	11	13	0	2
		西条石鎚	58	58	24	0
		R合計	811	818	145	7
	3	大洲	46	52	5	6
		宇和	52	54	6	2
		伊予長浜	13	13	0	0
		内子	53	55	17	2
		野村	21	22	2	1
		八幡浜	37	40	0	3
		三瓶	18	19	2	1
4	2	伊方	41	43	6	2
		保内	34	34	10	0
		八幡浜みなと	40	42	0	2
		宇和島	39	37	4	-2
	3	伊予吉田	28	27	0	-1
		南宇和	41	40	6	-1
		鬼北	37	37	10	0
		R合計	500	515	68	15
5	1	高松	36	36	0	0
		小豆島	44	53	10	9
		小豆島東	31	36	1	5
		高松葵	21	30	9	9
	2	高松南	16	13	1	-3
		高松フェニックス	23	27	5	4
		高松東	44	72	19	28
		高松西	44	36	6	-8
	3	直島	28	30	0	2
		八栗	36	36	11	0
		高松源平	35	38	8	3
		高松中央	54	64	34	10
6	4	東かがわ	44	44	12	0
		長尾	52	50	0	-2
		志度	41	43	3	2
		三木さぬき	50	55	25	5
	5	高松グリーン	19	18	0	-1
		高松玉藻	60	59	25	-1
		高松栗林	61	67	14	6
		高松屋島	74	66	20	-8
	6	高松紫雲	67	66	20	-1
		高松空港	32	30	0	-2
		高松北	39	40	9	1
		R合計	951	1009	232	58
7	1	丸亀	125	132	33	7
		坂出	58	46	0	-12
		坂出白峰	137	139	77	2
		綾歌郡	18	18	6	0
	2	丸亀京極	81	88	33	7
		うたづ	50	51	11	1
		坂出シニア	53	59	20	6
		観音寺	29	34	0	5
	3	善通寺	44	41	6	-3
		多度津	65	76	32	11
		三豊	50	50	0	0
		こんびら	71	76	38	5
8	4	観音寺中央	24	25	0	1
		R合計	805	835	256	30
	5	高知	57	58	13	1
		高知柏	77	78	24	1
		高知東	52	51	15	-1
		高知北	45	45	16	0
	6	高知桜	63	50	17	-13
		高知とさみずき	18	24	9	6
		須崎	35	31	0	-4
		土佐	50	50	0	0
	7	伊野	25	24	5	-1
		佐川越知	26	27	4	1
		中土佐	26	23	0	-3
		四万十	55	55	11	0
9	8	土佐清水	43	39	2	-4
		宿毛	24	25	0	1
		窪川	13	13	0	0
		大方	27	27	4	0
	9	大正	22	18	2	-4
		R合計	658	638	122	-20
	10	高知鷹城	53	53	8	0
		室戸	30	30	5	0
		高知鏡川	42	41	5	-1
		高知南	35	35	0	0
10	11	高知よさこい	52	52	13	0
		土佐国府	16	15	0	-1
		高知黒潮	65	67	0	2
		高知桂	47	45	3	-2
	12	高知中央	57	57	17	0
		高知安芸	36	39	5	3
		高知りょうま	62	54	19	-8
		土佐山田	14	13	2	-1
	13	土佐本山	29	29	8	0
		南国	28	27	4	-1
		土佐香南	45	47	13	2
		大豊	5	5	0	0
11	14	R合計	616	609	102	-7
		徳島	29	20	0	-9
		小松島	27	30	11	3
		阿南	42	48	12	6
	15	徳島南	13	19	3	6
		阿波勝浦	24	23	2	-1
		徳島マリニピア	43	44	0	1
		徳島すだち	86	85	0	-1
	16	徳島中央	31	32	10	1
		石井	38	40	22	2
		徳島城山	49	49	17	0
		上板	34	33	0	-1
12	17	徳島吉野川	35	35	0	0
		土成	33	31	0	-2
		徳島やまもも	23	25	1	2
		R合計	507	514	78	7
	18	徳島眉山	29	29	0	0
		鳴門	45	45	9	0
		藍住	37	38	6	1
		板野	33	38	0	5
	19	松茂徳島空港	14	16	0	2
		鳴門西	25	23	0	-2
		北島	40	44	0	4
		阿波池田	30	29	0	-1
13	20	脇	39	44	2	5
		鴨島	33	33	10	0
		阿波	28	28	0	0
		神山	24	24	3	0
	21	徳島藍	43	44	12	1
		R合計	507	514	78	7
	22	地区合計	6,105	6,306	1,122	201

物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます

(2017年4月1日～2017年5月31日)

①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日



①大櫛 以手紙(97歳)
②8R-1Z 徳島
③1960年10月1日
④2017年4月12日



①小出 勝之(83歳)
②4R-4Z 高松玉藻
③1977年6月2日
④2017年4月25日



①新田 修敏(73歳)
②1R-3Z 松山白鷺
③1992年3月
④2017年5月6日



①千代 武則(97歳)
②5R-2Z 善通寺
③1962年6月19日
④2017年5月9日



①平岡 英高(70歳)
②9R-1Z 藍住
③2016年10月1日
④2017年 5月15日



①三木 和敏(90歳)
②7R-2Z 高知中央
③1973年10月7日
④2017年5月17日



①置田 克巳(76歳)
②8R-1Z 阿波勝浦
③1977年6月1日
④2017年5月20日



①岩川 廉夫(97歳)
②6R-1Z 高知北
③1984年10月1日
④2017年5月23日



①藤明 美洋(75歳)
②4R-3Z 志度
③2003年8月20日
④2017年5月25日

表紙切り絵作家プロフィール

切り絵作家 寒川 幹子氏

1963年 丸亀市に生まれる
1956年 香川県立聲学校高等部卒業
1983年 香川短期大学生活デザインコース卒業
1985年 同 研修生終了
〃 第1回個展 (画廊タブロー5)
1986年 うちわデザインコンクール全国最優秀賞受賞
〃 第2回個展 (画廊タブロー5)
1987年～1997年 丸亀市広報「まるがめ」の表紙を担当
1989年～1997年 朝日新聞香川版に切り絵
1990年 第3回個展 (中津万象園・丸亀美術館)
1993年 第4回個展 (丸亀市資料館)
1998年 第5回個展 (高松市美術館 市民ギャラリー)
※以後『つきのこぎやうりい』にて毎年個展を開催
1993年・1999年・2001年～2005年 四国新聞・丸亀お城まつりの特集に『切り絵』を掲載
2011年～2015年 丸亀市婆娑羅まつりポスターの図案担当

住所 香川県丸亀市天満町1-7-35
TEL 0877-22-5524

編集後記



▽今年度の地区誌第4号の発刊をもって編集委員としての役目を終えます。この委員会はなかなか大変だなと感じました。しかし編集や校正等を通じて、色々と勉強になりました。そして、ガバナー始めRC、ZC、地区委員長さん達のご苦勞が良く理解できました。私も8年前坂出キャビネットの時、地区委員長をさせていただき、當時を懐かしく思いました。LCの活動は終わりがありません。より良い奉仕活動を目指していきたいものです。水原委員長さん他4名の委員さんに感謝して。

(地区誌編集委員 大川 文彦)

▽6月26日(月)、いよいよ本年度地区誌編集委員会の最後の委員会となった。年度内に4回の発刊、それぞれで3～4回の編集及び校正の為の委員会を持った事になるので、全体で15～16回は会を重ねたことになる。真鍋隆ガバナーにも、お忙しい中出来る限りのご出席を頂き、例年にも増してガバナーの考えを直接反映した地区誌と成り得たのでは?と思っております。最後に次年度に地区誌に携われますメンバー各位に、現委員会から心からのエールを贈らせて頂きたいと思ひます、頑張ってください。この一年間のご愛読を有難うございました。

(地区誌編集委員 宮本 俊二)

第64回地区年次大会開催のご案内



ライオンズクラブ国際協会336-A地区 **第64回地区年次大会 徳島大会** 2018年4月7^土・8^日
徳島市／アスティとくしま
藍のある国 阿波へ みんなで手を挙げヤットサー ヤットサー
徳島市山城町東浜傍1



2017～2018 ライオンズクラブ国際協会
336-A地区次期徳島キャビネット事務局

徳島県徳島市東沖洲1-1-4 マリンピア会館2F
Tel:088-677-9336 fax:088-677-9993
Email:tokushima336@tiara.ocn.ne.jp



We Serve

2016～2017年 ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 **こんぴらキャビネット事務局**

〒766-0004
香川県仲多度郡琴平町榎井869-5
琴平町商工会館1F
TEL 0877-89-3360
FAX 0877-89-3361
E-mail: konpira@lci336a.org

第98号 No.4
発行日/平成29年6月30日
発行所/336-A地区
こんぴらキャビネット事務局
発行人/真鍋 隆
企画編集/地区誌編集委員会
印刷/株式会社弘栄社

四国の島ベストショット

伊島(阿南市)



蒲生田岬から、四国最東端の島伊島を望む(徳島県)